

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	北播磨こども発達支援室 小野ゆらんこ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの情報や支援の方針等についての共有を積極的に行っている	・必要であれば報告者に対する深掘りや付け加えの報告を行うことにより、一層包括的な視点での情報共有を行っている ・また、伝達が不十分であれば、どの点に関する情報が必要なのかを伝えたくえで改めて報告を求めるなどしている	・より少ない時間で効率的かつ端的に伝える力を身につける ・その日の出勤ではない職員にも情報がいきわたるような構造・仕組みを検討する
2	・市や園とのつながりの強さ	・もともとつながりのある職員が多数在籍している	・今後は職員の昇格や新規採用等に伴い、関係の引き継ぎや連携のノウハウ伝授が必要
3	・近くに体をしっかり動かせる場所がある(公園・広場など)	・職員も一緒に体を動かし、自然と走ったりルールのある遊びや皆で行う遊びにならしている	・外での遊びの幅を広げたい(様々な体の動かし方…大縄跳びやルールのある遊び等)

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員を育てるための仕組みやプログラムが強い	・まだ新しい事業所であり、マネジメントの経験が少ない職員が多いため	・法人として職員育成に関する研修の企画が必要
2	・標準的な視点が乏しい(新たに関わる方への伝達力)	・他事業所や他機関等と関わる機会の少ない職員が多いこと ・外部の研修(特に福祉分野以外の)への参加が少ないこと	・事業所間での交流の活性化 ・幅広い研修への参加の積極化
3	・職員間での連携に少し時差が発生することがある	・申し送りノートのチェックや記入が十分でないことがある ・配布物については、全ての職員まで理解できていないときがある	・申し送りノートに記入することはないかを保育終了時に確認する習慣をつける ・配布物は玄関対応の職員自ら確認する習慣をつける

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 北播磨こども発達支援室 小野ゆらんこ

公表日 2026年2月13日

利用児童数 49

回収数 42

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42				事業所内だけでなく公園など様々な場所で活動する機会を作ってくださいます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	40			2	個人個人を見ることもできる人数が配置されていると思います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40			2	背の低い子ども使用しやすいトイレになっていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40			2	整理整頓された空間です。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	2		2	得意ではないことを見つけ出し声かけをしてくださっています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40			2	子どもの支援が必要などころと支援内容は合っていると思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	1			子どもを良く見て作成してくださっていると感じます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39			3	子どもに合わせた支援を設定してくださっています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	1		1	計画に沿って支援していただいています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	3		1	見学をしている際も、子どもがいろんな「できる」を見つけられる内容になっていると思います。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24	2	3	13	「小学校のお兄ちゃん、お姉ちゃんと遊んだの!」とうれしそうに話してくれたときがありました。保育園で友達と遊んでいます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	42				一通りの説明を丁寧にしてくださいました。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42				定期的に説明の機会があります。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40			2	定期的に案内があります。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	41	1			保護者ともコミュニケーションをとり、情報共有ができています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40			2	迷ったことを相談できる環境にあります。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40			2	子どもを第一に、親にも寄り添ってくださっていると感じます。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	6	1	12	きょうだいへの支援はわかりません。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38			4	「HUG」を利用して相談をしやすく、直接会話するまでの対応も迅速であると感じます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40		2	メモ等もあり、配慮されています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	41		1	[HUG]を通して知ることができます。写真を送ってくださるところも気に入っています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	2		不安に感じたことはありません。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	1	3	周知されていると思います。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	2	2	避難訓練を実施していただいています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42			ドアの鍵を閉める等、対策されていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38		4	まだ発生していないためわからないが、発生した場合は迅速に対応して下さると思います。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	42			嫌がることもなく「ゆらんごさん行くよ！」と伝えると喜んで行く準備をしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	41	1		毎回、何をするのか楽しみな様子です。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	40	1	1	子どもに合わせた支援を提案、提供していただいています。いつも丁寧に支援して下さりありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 北播磨こども発達支援室 小野ゆらんこ

公表日 2026年2月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	保育室と個別室を使ったり、活動により使い分けている。 A・Bチームで、わけて戸外に出て、ゆったりあそべる工夫をされていて良いと思う。 規定は達している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	1対1の時や多めに配置してありゆったりと子どもと保育が出来ている。 ゆったりと配置してあるので緊急時も焦らず対応できる。 規定以上の人員配置をしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	視覚的にトイレなど知らせている。段差がなく歩行が難しい子は手すりを使ったり、情報共有が来ている。 変な段差（静養室）、床とすきまのあるドア、クッション性、保温性のない床、登ってほしいといわんばかりの棚等、気になるところはある。 パーティションの利用や視覚支援はまだ足りない部分がある。	パーティションは準備する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	週末に感染対策として消毒したり、活動により保育室や個別室などを使っている。 トイレの換気扇のホコリ、トイレ前のカーペットの所など、直接座ってしまうこともあるので、その時の対応を話し合う。 活動ごとに環境の変化。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	トイレは自由に行けるようにドアを開けていたり、静養室はいつでも使うことができています。 職員の配置にゆとりがあるので、対応可能だ。 個別保育室や静養室を利用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	全職員の意見が反映されてはいない。 日々のポイント、反省、よかった所等、AM・PMに分けて出勤職員で話す時間がとれている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	会議で話す時間を設けてくださっている。 施設長が対応し、対応・対策・結果を話合ったり、報告を受けたりしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	会議も保育前にその子その子のポイントを伝え保育に取り入れている。 全職員の意見を把握されていない。 毎月の会議で確認しているが、全職員に聞いているわけではない。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	以前はあったが、今はない。 外部評価は行っていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	Eラーニングを導入。決められた内容を見ると共に、自分が学びたいことも見ることができ、向上に繋がっている。 月一回必ず研修を行っている。他、外部の研修にも参加している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	送迎時など、職員が保護者と顔を合わすので、相談を受けやすい。HUG導入でいつでもメッセージのやり取りができる。 保護者との面談以外にもHUGによるチャット利用でニーズや課題の分析を行っている。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	個別支援会議を定期的に行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	記録ファイルの始めにはさんである。そうすることで、いつでも誰でもすぐに確認できるようになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	日々の反省会で行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	主に考えている人が決まっているため、かたよりがちになりやすい傾向にあるし、発想が乏しいと、案が浮かばずやっつけになる。個人の負担にはなっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	アドバイスを受けることで少しは回避できるように思うが、難しい。新しい発想が出ずらい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	打ち合わせをして話ができている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	連絡帳だけでなく、ケア記録を記入したり、ふりかえり等話ができている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	個別支援会議の時に、日々の保育の様子も話すことで、新たな気付きもある。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	電話や訪問等で話し合っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	もうしおくり書を作成している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	よくわからない。		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	放課後等デイサービス（ゆらんこクラブ）との交流して定期的に行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳や送迎時に話をしたり、支援計画の話しに伝えている。 HUGを導入。伝えたい事を伝えた時に送れるようになった。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	お知らせをして月1開催をしている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	紙を渡したり、契約時に話している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	保護者の相談、困りごとを聞き一緒に確認している。職員間でも話している。 アセスメントの時に1つ1つ丁寧に確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	相談があったり話が聞けるように時間を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	パパママカフェや親子行事を行っている。 5歳児対象の運動会の時に少し交流する機会を持たた。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	職員間で話をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	月1におたよりを作成発信している。HPの写真のせたり連絡帳も活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	カバンに名札をつけたり、親から預かるものはすぐに職員室に持って行く。 写真や個人情報のあつかいに関して保護者に確認を書面で行うことで、意見の行き違いがないようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	3	視覚的に知らせたり、送迎時に話を聞いたりする。 HUGを活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	コミセンのおまつりに作品を出している。 地域の行事には参加させて頂いている。（コミセン祭）	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	職員でマニュアルを読んだり、マニュアルを作成し見れるようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCPの内容を職員間で確認する。他の職員ともできるように研修を行う。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	保護者から話を聞いている。 入所時確認。書面に残している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	保護者から聞き、他の職員にも周知している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	月1に避難訓練をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	マニュアルがいつでも見れるようにしたり、お手紙などで知らせている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	報告、改善ができるように、会議に話ができている。参加できていない人が見れるように回覧し、周知できている。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待の研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	職員間で話し、支援計画に記載し、話している。	